

問題番号	問題文		
	選択肢 1	選択肢 2	選択肢 3
71	非接触で半導体メモリのデータを読み出し、書き込みのための近距離通信を行うものの総称をなんというか。 EWT（エレクトリック・ウェイブ・タグ）	R F I D（ラジオ・フリークエンシー・アイデンティファイアー）	R F I T（ラジオ・フリークエンシー、アイシー・タグ）
72	店舗レイアウトや店内表示についての説明で正しいものはどれか。 買い物しやすさを第一に考えるべきで、買い物客にとってわかりやすく、探している商品にできるだけ容易に短時間で到達できるようにすべきだ	店内に「防犯カメラ作動中」「隠したら店をですとも窃盗犯！」「警察官立ち寄り所」「万引は犯罪です～警察に通報します」など買い物客が疑われる印象を持つかもしれないポスターは掲示物すべきではない	買物のしやすさよりも、未精算の商品を持ちだすといった不正行為を予防することを優先すべきである
73	店舗に保安警備会社から防犯対策専門の警備員を派遣してもらうことがあるが、以下の説明で正しいものはどれか。 店舗側が警備を行う専任者を保安警備会社から派遣してもらうのではなく直接雇用することはできる	店舗側が警備会社から派遣された警備員に直接作業指示などできる	警備員を人材派遣業者から派遣することができる
74	全国万引犯罪防止機構の2018年のアンケート調査による「万引犯を確保した人物」のうち保安員（警備員）ではなく店舗従業員が万引犯を確保した回答があった比率は全体の何パーセント程度か。 6パーセント程度	12パーセント程度	18パーセント程度
75	万引犯の捕捉には常にリスクが存在する。「談認」逮捕を防ぐためにはどのような犯行確認をすべきか。正しいものを選び。 万引した商品を隠したが、万引するところを確実に目撃した警備員は、犯人がどこに隠したかを見ていなかったために身体検査をした	精算（商品代金の支払い）が済んでいないこと、自店の商品であること、隠匿場所が明確であり、捕捉時に否認されても隠匿場所を指摘できなければならない	万引犯を捕捉する法的な根拠は、刑法で定められた「現行犯逮捕」である
76	捕捉した後の万引犯にしてはいけないものはどれか。 余罪を追及すること（過去に自店で万引したことがあるかどうか尋ねる）	捕捉時に万引犯が抵抗をしたため、腕をつかむなど拘束に近いかたちで現行犯逮捕し、事情聴取の場まで連れてゆくこと	本人承諾の上で、かばんの中など私物を全部提出させること
77	万引窃盗犯に対して損害賠償請求する場合の損害賠償金額の範囲で正しいものを選び。 損害商品金額・もし什器備品の破損があった場合はそれも含む	損害商品金額・人件費（時給単価×店舗と保安員拘束時間）・もし什器備品の破損があった場合はそれも含む	損害商品金額・人件費（時給単価×店舗と保安員拘束時間）・もし什器備品の破損があった場合はそれも含む・それに加えて顧客に不安を与えたことなどの迷惑料も含む
78	「割れ窓理論」の説明で正しいものを選び。 窓ガラスなどを破り、侵入し、大量の商品を持ち出す悪質な者の犯行手口を分析し体系だてた理論を「割れ窓理論」という	警察職員によるパトロールや交通違反の取り締まりの強化などは「割れ窓理論」の対策としては含まれない	店舗や売場に限らず「ごみが落ちていたり、放置したダンボールや壁の落書きなど仔細な不具合を放置すると、荒れ放題になってしまいがちである」という理論
79	応急手当の中でも「心肺蘇生」「AED」「気道異物の除去」の三つは、命を救うための処置であるが、以下の説明で正しいものを選び。 自動体外式除細動器は、突然の心停止となった場合、静止した心臓に電気ショックで刺激を与え、心臓を再起動させる装置である	AED（自動体外除細動器）は、突然の心停止の原因となる重症不整脈に対して、心臓に電気ショックで刺激を与え、心臓が本来持っているリズムを回復させることができる	AED（自動体外式除細動器）は、突然の心停止となった場合、最初に使用し、心臓に電気ショックで刺激を与えることで、呼吸が止まっても、人工呼吸や胸骨圧迫が不要で、心臓と呼吸を回復させることができる
80	食品や医薬品など人間の体内に入るものを販売する場合、正しく説明されているものはどれか。 食物アレルギーに対するリスクについては、食品原料のアレルゲン表示など、食品表示法に基づいた表示はするのはもちろん、売場をわけて買い物客に明確にわかるような陳列が必要である	薬物の管理は厳密さを要求されるため、一般用医薬品を販売する場合は、必ず、販売（情報提供）は薬剤師が行わなくてはならない	特に生鮮食品などでの品質劣化や消費期限切れによる廃棄などのロスを防ぐためには、先入先出しはもちろんのこと、それぞれの特性に応じた収納保管方法と、発注を含む商品管理方法がとられる

合格者の方々おめでとうございます！！今後のご活躍を祈念申し上げます。

残念ながら合格されなかった方のために「再チャレンジ」制度を設けました。
より少ない負担で再受験いただけるように受験料を割り引くものです。
（詳細は、このホームページの受験申し込み画面をご覧ください。）

特定非営利活動法人全国万引犯罪防止機構

LP教育制度作成委員会



ロス・プリベンションをより深く学びたい方にお薦めの本です。
理論だけではなく、具体的に実務的、実用的な内容です。

著者のフロリダ大学のリード・ヘイズ博士は、この分野の第一人者であり、LPRC(Loss Prevention Research Council)の中心人物でもあります。
また、2017年3月に日本で開催された「万引防止強化国際会議」にも招聘され講演されています。

ロスプリベンションで未然に防ぐ
小売業のロス対策入門
リード・ヘイズ著
近江元／阿部孔孝訳
中央経済社発行
3520円（本体価格3200円＋税）